



ENJOY CARE LIFE
楽晴会

発行所 社会福祉法人 楽晴会
 発行人 齊藤 淳
 企画編集 楽晴会広報委員会

〒033-0041
 青森県三沢市大町二丁目6番27号
 TEL:0176-53-3550
 FAX:0176-53-2480
 E-mail:wmaster@rakuseikai.or.jp



令和三年三月二十七日、第三回こども宅食おすそわけ便(主催・楽晴会(担当)ソーシャルワークセンター)を開催致しました。
 当日はフェイスガードを着用し、密にならずにスムーズに実施することができました。
 社協議会様のご協力の下、密にならずにスムーズに実施することができました。
 ご協力頂きました皆様ありがとうございました。

特別企画!!

第三回こども宅食

おすそわけ便開催!!

生活困窮者支援の取り組み

1 しあわせネットワーク

青森しあわせネットワークは青森県社会福祉協議会（以下県社協）を主体に平成二十九年度より始まり、三沢市ではこれまで延べ六十二世帯の方が利用されました。利用者層は子供のいる家庭が三十件と約半数を占めています。これは県内でも圧倒的に高い数字です。また、高齢者の利用者は六名と約一割でこちらは県内では少ない数字です。三沢市独特の数字のあらわれのよう

です。楽晴会はただお金を支援するだけではなく、三沢市の生活困窮者支援窓口の就労支援、家計のやりくりを学び、

共に考えていく会計支援や、ハローワークとのネットワークも構築できており、就職先が見つかりお給料を頂いたからと分割で返還される方も多く、県内ではトップのようです。

今年の二月から三月にかけて、ひとり親家庭・就学支援を受けている家庭九家族から依頼を受け、小・中・高の入学のための制服購入費約六十二万円の支援を行いました。

中には子供二人が入学で一人分だけでもお願いしますと大変な家庭もありました。

それにしても入学の準備のためになんとお金がかかることかと改めて感じました。

2 人生食堂からスタート

令和二年八月八日、人生食堂がスタートしました。

困っているのは子供だけではない、大人が食べられなければ子供も食べられないと、子ども食堂ではなく人生食堂と名付けたことは、ゆーとびあ六九号でもお伝えたとおりです。

きっかけは県社協からクリームシチューの素二〇〇人分を頂いたこと。

予想以上の好評で「今度はいっつ？」と聞かれるほどでした。



3 こども宅食導入前夜

令和二年十一月四日、次の人生食堂の準備中に、県社協社会貢献活動推進室室長の葛西裕美氏から「楽晴会がやっている人生食堂や生活困窮者支援はまさに『こども宅食・おすそわけ便』だと思います。消費期限が近くなった食品や日用品をおすそわけするいわゆる食品ロスを減らそうという事業で、現在全国的に始まっています。生協コープあおもりさんや青森県民生活協同組合さんに協力を頂くことになりました。五所川原市社会福祉協議会も手を挙げています。楽晴会もやりませんか」と云うことで急遽「こども宅食・おすそわけ便」がスタートしました。



4 令和二年十一月二十一日第二回人生食堂&第一回こども宅食おすそわけ便事業開始!

三沢市総合社会福祉センターで、第一回こども宅食・おすそわけ便（パントリーのみ）と第二回人生食堂を開催いたしました。

生協コープあおもりさんや青森県民生活協同組合さんのみならず、お米の川長様からは摺りたての新米を、東北ファーム様からは生みたての新鮮なたまご「味乙女」、そして川守田パン様からたくさん菓子パン、ケーキのニコ様から段ボール十箱近くのバームクーヘンを頂きました。

また、一般市民の皆様や職員からもたくさんの方が食品が寄せられ、多くの方にご来場いただきました。お弁当作りでは、民生委員児童委員の方々の手際の良さに感謝し、感謝でいっぱいでした。

5 令和二年十二月二十二日 説明会

本格的に稼働するには、配達や受取場所等で受け取る等、地元の相談の要である民生委員・児童委員の方々や保育所、一般市民の方の協力と理解が必要です。そのため、十二月二十二日にホテルグランヒルつたやで県社協葛西氏による説明会を行いました。

その後、葛西氏より国の事業である「支援対象児童等見守り強化事業」を申請してみないかと説明がありました。

これは民間団体等を含めた様々な地域ネットワークを総動員し、支援ニーズの高い子供等を見守り、必要な支援につなげることができ体制の強化を推進するということです。

年末に三沢市子育て支援課に申請し、今年度四月より委託を受けました。

青森しあわせネットワークや「こども宅食・おすそわけ便」を活用しながら子供達の支援に取り組んでまいります。

6 近況

令和三年一月三十一日 第二回こども宅食おすそわけ便

令和三年三月六日 第三回人生食堂

令和三年三月二十七日 第三回こども宅食おすそわけ便

第三回人生食堂では、お米の川長様からいただいたアルファア米を活用してコーンご飯のカレーライスを約二〇〇食配達いたしました。



2021.01.30

自宅への配達・指定場所での受け取りを希望された方へお届けしました♡



まとめ

しあわせネットワークや、「こども宅食・おすそわけ便」強化事業を通してみて、三沢市にはご飯が食べられなかったり、大人の都合で困難を強いられていたり、支援が必要な子ども達が沢山いることが見えてきました。この子ども達が自立できるように見守り・支援していきたいと日々思いを募らせております。

(中川)

令和三年二月十日
ソーシャルワークセンターへ
子ども子育て支援員 配属



楽晴会ソーシャルワークセンター
「親子安心 ネットワークみさわ」

ソーシャルワーカー 附田 榛佳

二月十日より、ソーシャルワークセンターで勤務しております、附田です。今年度より、三沢市から「支援対象児童等見守り強化事業」の委託を受けて、こども宅食おすそわけ便や人生食堂を運営することとなりました。四月から委託事業として本格始動しましたが、とても大きな役割をもっていると感じています。

担当者として、一つでも多くの家庭とつながることができるよう頑張りたいと思います。



第二回・第三回 子ども宅食アンケート結果より

令和三年一月三十日に開催された、第二回三沢子ども宅食おすそわけ便では、自宅への配達を希望した方が令和二年十一月開催の時よりも増えています。前回に引き続き利用された方は約四割にもおぼり、利用満足度は八割以上の方が五点満点と回答しています。

自宅への配達を希望した理由については「妊娠中、子育て中のため外出できないから」、指定場所での受取を希望した理由では「卒園した園に行くきっかけになり子ども喜ぶから」「お迎えの際に受け取れるから」という声が多かったです。また、「コロナ禍なのでなるべく人と接触しないようにしたかった」という声も多く、世の中の影響を大きく受けている印象でした。

令和三年三月二十七日に開催された第三回三沢子ども宅食おすそわけ便では、指定場所での受取、自宅への配達、パントリー合わせて約一八〇世帯の方が利用しました。利用満足度は半数以上の方が五点と回答しています。

利用した感想では、「お米やパン、卵など毎日食べるものももらえて嬉しかった」「消毒用アルコールがなかったのが助かりました」「子どもに関するものが増えてよかったです」など嬉しい声がたくさん届いています。

また「パントリー会場でどこまでが商品を選ぶ範囲なのか分かりにくかった」「子どもが同伴していなくてもお菓子などももらえるように工夫してほしい」などの意見もいただいております。

第二・三回全体の結果としては、自宅への配達や指定場所での受取の利用率は合わせて半数を超え、パントリー利用率は全体の三割程度でした。パントリーを利用した方は「子どもと一緒に選べるので子どもも喜んでいきます」「毎回親子で楽しく選んでいます」という声が多く、パントリー会場でも嬉しそうにお菓子やパンを胸に抱えている子供達が多い印象です。

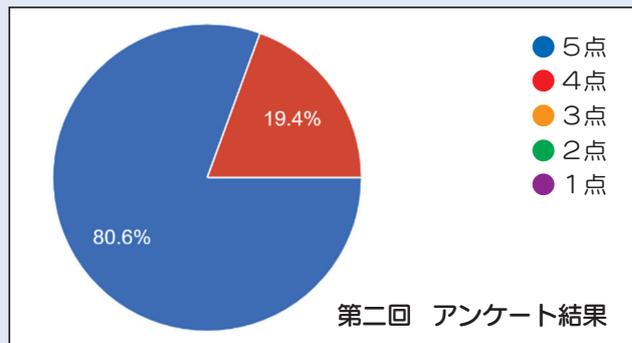
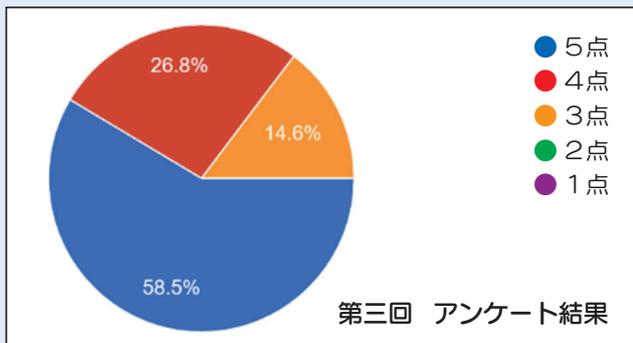
三沢子ども宅食おすそわけ便を次回も利用したいと回答した方は九割を超え、ほとんどの方が同じ方法、または今回は別の方法で利用したいと回答しています。

あつたらいいなと思う物資について要望が多かったのが、学校の制服やジャージ、学用品などと、オムツやミルクなどの乳幼児用品でした。

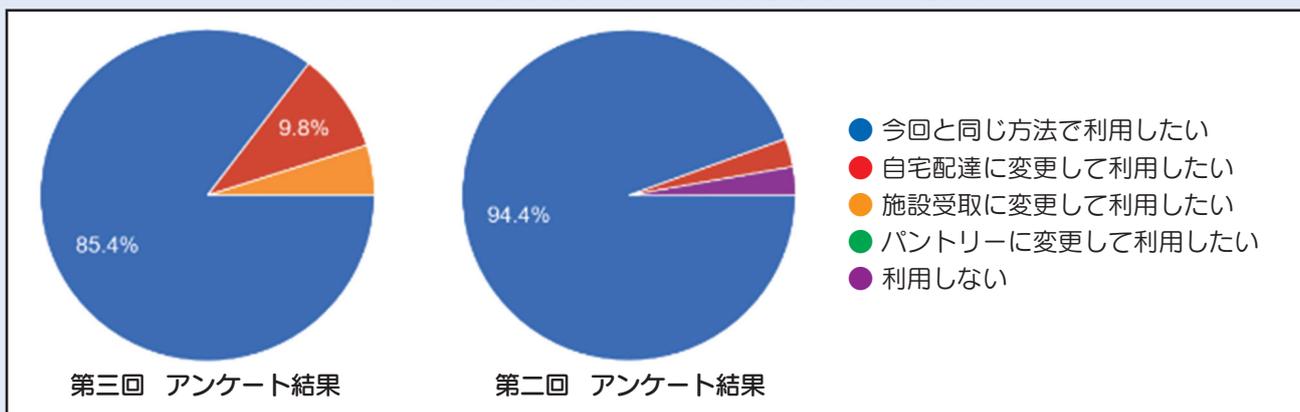
次回開催に向け、よりよい環境で開催できるように検討したいと思います。

(附田)

Q. 今回の利用満足度は5点満点で何店ですか？



Q. 次回も三沢子ども宅食おすそわけ便を利用したいですか？



トピックス

令和三年度 入社式

令和三年四月六日、きざん三沢に於きまして、今年度の入社式が執り行われました。



令和3年度 社会福祉法人 楽晴会 入社式

コロナ禍で開催が危ぶまれる中、青森県内の状況が比較的落ち着いていたこともあり、無事四名の新入職員を迎えて、開催の運びとなりました。



誓いのことば 新入職員代表
トラスト希望丘 関友斗

新入職員を迎えるにあたり、岡三沢ぬくもりの家・木村陸さんからは、次のような力強い「歓迎の言葉」を頂きました。



歓迎のことば 職員代表
岡三沢ぬくもりの家 木村 陸

新入職員の皆さん、本日はご入社おめでとうございます。
私が介護職員として四年間の中で強く感じた事を私のこれからのアドバイスとしてお話いたします。
一つ、失敗は恐れてください。
二つ、挑戦はどんどんしてください。
矛盾しているかもしれませんがこの言葉を送ります。
介護での失敗はお客様の生活、ひいては人生に多大な影響を与えます。

介護での挑戦はお客様に良い生活をもたらすきっかけを生み出す事ができます。

しかし、挑戦には失敗がつき物である事も忘れないで下さい。その失敗を減らすために、私は頼れる先輩に、事前に報告・連絡・相談をしています。

知識・技術を四年間で身に付けたつもりですが、先輩方はさらに広い視野でのアドバイスをくれます。ミスをしたとしても改善策を導き出す方法を教えてくれます。挑戦を繰り返すうちに、お客様の生活がよりよくなるという成果に繋がります。先輩に頼る自分から、少しずつでも先輩に頼られる自分になろうと今でも頑張っているところです。

皆さんも、これからたくさんのお客様に出会い、たくさんのかげがいのない経験をしていくでしょう。その経験は自分の人生に活かされていく事は間違いありません。

(歓迎の言葉より一部抜粋)
木村さん、素敵なメッセージをありがとうございました。

皆さん大きく
成長し、地域福祉に
貢献してくださいね!

「楽晴会 イズム大賞」 受賞作品決定!!

各賞受賞者（敬称略）

楽晴会イズム大賞

金賞 1名

・晴ヶ丘老人ホーム

枋木 麗奈

（現 岡三沢コラボケアセンター勤務）

銀賞 2名

・栄町コラボケアセンター

円子 拳

・三沢老人ホーム

東 萌子

銅賞 1名

・法人本部

橋本 聖樹

エンターテイメント賞

2名

・大町児童アイサービスセンターひかり

古内 千明

・松園ケアラウンジ・スカイ

橋端 朋香

「楽晴会イズム大賞」とは、職員が日頃感じている楽晴会の良さ・強み・誇りなどを、十五秒のイズム動画として自由に表現してもらい、多くの賛同を得た動画作品は広報活動に採用し楽晴会PRに活用していこう。畑山理事率いる広報・採用チームにスカウトできるような宣伝力のある人材を発掘しよう。という大きな目的から企画が立ち上がり、良かった作品への受賞も決定しました。

この初の楽晴会イズム大賞に十名の職員が参加し、十本の楽晴会イズム動画作品が出来上がったのです。

出来上がった作品を全職員へ視聴していただき「イズムに共感した作品」「笑顔、楽しい、元気などのエンターテイメントに優れている作品」それぞれ良かったと思う作品に投票をしていただきました。

賞は投票数の多い順に「イズム賞」「金賞・銀賞・銅賞」「エンターテイメント賞」の各賞を決定いたしました。しかし、「それぞれとても素晴らしい」「どれも良くて投票に迷った」「面白かった」等の声を多く頂き、このような素晴らしい企画に携わることができたこと改めて光栄に思いました。また、このようにイズム大賞授賞式を迎えられたこと大変うれしく思います。

ご協力頂きありがとうございます。
（鶴川）

楽晴会イズム大賞 受賞動画より



金賞
晴ヶ丘老人ホーム
枋木 麗奈
（現 岡三沢コラボケアセンター勤務）



銀賞
栄町コラボケアセンター
円子 拳



銀賞
三沢老人ホーム
東 萌子



東京拠点便り

オンライン研修の 取り組み

世田谷希望丘ホーム

介護長 後藤 恵美

世田谷希望丘ホームでは令和三年一月から三月にかけてユニットケアやチームワークのつくり方など、「生活介護研究所」はびり屋代表加藤慶先生にオンラインで研修を行っていただきました。

加藤先生は理学療法士ですが、生活全体の目線を大切にされており、懇談形式もある大変有意義な研修でした。

加藤先生から、全てに共通する《その方の事（生き様）を知ろうとしているのか？》《尊厳の保持に大切に扱う事》という内容を改めて学ばせていただき、自分自身ハッとさせられました。

研修を通じ「亡くなる瞬間まで、私の事を知ってほしい。」という思いを忘れない介護人になりたいと思っています。

また加藤先生の話が聴けるのを楽しみにしつつ、このような機会を頂いた事に感謝します。ありがとうございます。



令和2年度ボランティア受入状況 2020年12月～2021年3月

拠点名	事業所名	個人	団体	計
晴ヶ丘	晴ヶ丘老人ホーム	2	8	10
	はるが丘デイサービスセンター	12	0	12
三沢	三沢老人ホーム	33	17	50
岡三沢	岡三沢ぬくもりの家	11	0	11
	岡三沢コラボケアセンター			
栄町	栄町ぬくもりの家	10	0	10
	栄町コラボケアセンター			
緑ヶ丘児童	緑ヶ丘児童デイサービスセンター	14	0	14
計		82	25	107

《福祉教育》

〔令和二年十二月～令和三年三月〕
〔実習生・小中学校受入れ・講演等〕

若年者地元定着推進事業 講師派遣

「発見Mitsume企業！」

令和三年二月五日

三沢第一中学校 二学年

法人本部 理事 齊藤

晴ヶ丘老人ホーム 園長代理 紋

療育・障害者相談センターボイス 一戸 大蔵

松園ケアラウンジ・スカイ 施設長補佐 吉田 博之

施設長 吉田 幸恵

吉田 幸恵

【三沢老人ホーム】

令和三年三月八日～三月二十三日

八戸学院大学短期大学部

介護福祉学科 一学年 二名

【岡三沢コラボケアセンター】

令和三年一月十二日～一月二十七日

八戸学院大学短期大学部

介護福祉学科一学年二名（介護実習Ⅱ）

《各拠点日報》

〔令和二年十二月～令和三年三月〕

晴ヶ丘拠点

【晴ヶ丘老人ホーム】

十二月二十四日 クリスマス会

一月十五日 新年会

二月二日 節分行事

二月二十四日

山鳩の会（自治会）懇談会

【はるが丘デイサービスセンター】

十二月二十一日 クリスマス会

一月四日 正月遊び（カルタ）

一月十五日 小正月繭玉作り

二月一日～三日 節分

【グループホームはるが丘】

令和三年一月二日 書き初め

令和三年一月十五日 新年会

令和三年二月二十八日 お茶会

令和三年三月十六日 運営推進会議

松園拠点

十二月十六日 年末感謝祭

十二月十七日 三沢基地チャペル訪問
（クリスマスプレゼント）

一月十五日 小正月行事

三月三日 Cafe42出張カフェ

栄町拠点

【栄町コラボ】

十二月十八日 餅つき会

十二月二十五日 クリスマス会

一月十四日 新年会

【栄町ぬくもり】

十二月十八日 餅つき会

十二月二十五日 クリスマス会

一月十四日 新年会

二月十日 スイーツバイキング

三月二十九日 ミニ運動会

※拠点各事業所において三月二十三日

から三月二十六日までにて下期親睦会

として焼肉や寿司で慰労会を行いま

岡三沢拠点

十二月十四日 忘年会

二月十二日 ケーキバイキング

松原拠点

【松原コラボケアセンター】

一月十五日 繭玉作り（小正月）

三月三日

ケーキバイキング（ひな祭り）

※毎月三日間限定の季節湯を楽しんで

いただいています。

【松原ぬくもりの家】

一月十五日 繭玉作り（小正月）

三月三日

ケーキバイキング（ひな祭り）

大津拠点

【シニアライフ大津】

十二月二十三日 クリスマス会

一月二十日 初釜

二月二日 節分行事

二月二十四日 ミニレクリエーション

三月三日 ひな祭り行事

三月十七日 Cafe42出張カフェ

《御寄贈御礼》

〔令和二年十二月～令和三年三月〕

光昌寺様

●お菓子・お団子 58・2 kg

米内山詩穂様

●洗濯機9 kg 一台

古間木地区民生委員様

●タオル一式

滝本久美子様

●雛人形七段飾り

堀田靖様

●チェスト 一台

世田谷区赤十字奉仕団 鈴木照枝様

●感染防護用エプロン 90枚

株式会社 韓国人蔘公社ジャパン様

●高麗人参根エキス10箱入り3カートン

本町化学工業株式会社様

●サンラック500（次亜塩酸ナトリウム製剤）20 kg 2箱

株式会社 大塚商会様

●箱ティッシュ5箱入り5パック

●B5ダブルリングノート2冊

●クール枕パッド10枚

●クールケット10枚

株式会社クレア様

●除菌エアコンフィルター30枚

世田谷区より

●ニトリル手袋10箱

●フェイスシールド100枚

●ポリエチレン手袋60箱

●ピュエラックス6箱

●使い捨てガウン60箱

●消毒ハンドジェル120本

●マスク10箱

●使い捨て手袋21箱

ありがとうございました。

編集後記

・お疲れ様でした。
・こども宅食のパントリー会場での
子供達の写真、マスク越しでもわ
かる笑顔に、こちらまで嬉しい気
持ちになりました。ありがとうございました。
（苦米地）

